

上田仮説サークルニュース	8月例会	2020.08号
編集責任 遠藤 裕		発行2020.9.26
〒383-0041 中野市岩船426-3 サッカーデーン中野B-G TEL0269-23-2847 携帯090-1406-9115		
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp 勤務先 中野西高校 TEL0269-22-7611		

8月22日(土) Zoomによるオンライン例会



午後3:00~6:30

参加者数9名

資料総ページ 54 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 北村知子さん, 北村秀夫さん, 高見沢一男さん,  
増田伸夫さん, 田中浩寿さん, 渡辺規夫さん, 大塚浩文さん, 遠藤裕

## <Zoomによる8月例会>

**はじめに** 8月例会の参加者は9名。

8月例会は、引き続き新型コロナウイルス感染防止のためZoomを利用したオンライン開催(5回目)。ホストは遠藤が初めてやりました。操作に慣れないところもありましたが、何とか無事に開催することができました。

今回も参加者の顔を見ながら話すことができ、大変充実したサークルになりました。

発表レポートは、柳沢さんから7本、田中さん1本、北村知子さん1本(オンライン上で写真の紹介)の合計9本でした。柳沢さんは他にも資料をメールで送信してくれていますが、特にサークルで発表していただいたものを中心にまとめさせていただきました。

このニュースは入手できた資料とメモに拠っていますのでご了承下さい。

全国的に新型コロナウイルスの感染者数は減ってきています。感染の予防には気を抜けません、そろそろ中央公民館での例会開催を願っております。

大戸屋さんでの夕食会も待ち遠しいです。

## <本の出版>

### 渡辺規夫さん出版の本の紹介

『板倉聖宣さん・上廻昭さんに聞く

仮説実験授業の誕生 仮説実験授業成立史資料集1』 上田仮説出版

新刊

『渡辺規夫講演 科学史研究と仮説実験授業』

上田仮説出版

板倉さんは何のために科学史を研究したのか

『日本科学史学会シンポジウム 科学史研究と教育』

上田仮説出版

『寛容の思想の成立と発展 第10集 牧表』 上田仮説出版  
『日本科学史学会シンポジウム 板倉聖宣の科学史研究と仮説実験授業』  
上田仮説出版

柳沢克央さん出版の本の紹介  
『竹内三郎 仮説実験授業の将来展望』 信州・ふたつやなぎ書房  
－「長谷川帽」と「偏見を抑圧しない組織」－

## 1. 発表資料

### ① サークルニュース 7月例会 遠藤 裕 (9ペ)

読書会 (第6回) 午後1時45分～2時45分 主催: 渡辺規夫さん

板倉聖宣著 『科学と方法－科学的認識の成立条件－』 (季節社)

「科学的認識の成立過程」203ページ～213ページ

§ 1 認識の成立条件

§ 2 科学的認識と仮説

### <Zoomによる7月例会>

#### 1. 発表資料

- ① サークルニュース 6月例会 遠藤 裕 (7ペ)
- ② 《生物と種》 花岡秀樹さん
- ③ 「すべての学問は理系化するのだ」 柳沢克央さん
- ④ データサイエンティストの板倉先生 柳沢克央さん (3ペ)
- ⑤ 牧野さんとオンラインでマッキーノ 柳沢克央さん (8ペ)
- ⑥ 「大ジャンプ」…「データ・サイエンス」時代のシン・「マッキーノ」論 柳沢克央さん (2ペ)
- ⑦ 板倉聖宣『数量的な見方考え方～数学教育を根底から変える視点～』(仮説社)より  
田中浩寿さん (4ペ)
- ⑧ 特別支援教育はたのしい授業で 北村知子さん
- ⑨ 大きさが100分の1で変わる世界 森下知昭さん (1ペ)
- ⑩ 2020読書メモ6・7月号 柳沢克央さん (5ペ)  
エリック・バーガー著『残酷すぎる成功方法』(飛鳥新社・2017年)

### ② 中一夫さん「サークルでのレポート検討の方法」 柳沢克央さん (8ペ)

中一夫さんの資料をうまく発表するコツやアドバイスの紹介。

たの教サークルでの動画の紹介がありました。中さんはZoomによる「語り場発表会」を

提唱。いつもと条件が違う発表会を考える上で、「こういうことを意識して、こういう準備をしてもらったら、格段にいい発表になるのでは」ということを書き出したのが資料。

サークルで大切にしていること、研究会の方針。発表時間、伝え方・発表の仕方、専門的内容、資料など。

### <紹介資料>

「上手な資料発表とは？－伝えたいことをうまく伝える工夫」東京・中 一夫 2020.8.8

- ・はじめに～資料発表の仕方を工夫する意味
- ・みんなが一番気にするのは「発表時間」。だけど…
- ・大会前の「サークル内発表会」
- ・どういうアドバイスがなされたか？
- ・大事なものは資料そのもの
- ・反応は見えにくい
- ・どういう人にわかってもらいたいのか？

### ③ 紹介 中一夫さん「講演記録の作り方」 柳沢克央さん (32ペ)

中一夫さんの資料の紹介。

**僕の「講演記録の作り方」**～その作業の手順と気を付けていること～

1992.1.1初稿/2012.2.11増補改訂

仮説実験授業の関係では、たくさんの「講演記録」が作られます。会のあと記録集が作られることも多く、それに関わる人も少なくないでしょう。けれども、実際に自分が講演記録を作るとなると、その作業の手順やどういうことに気をつければいいのか、聞きたくても聞けないということが多いはずです。特に、初めて講演記録を作るという人は、何から手をつければいいのか、戸惑ったりもするでしょう。

そこで、一つの例として僕が講演記録をどういう手順でつくり、どういう点に気を付けているかをまとめてみました。内容は、講演記録にかかわらず、資料(文)の書き方や、本のまとめかたなどのことにも発展しています。

実はこの資料、20年も発表せずにいたものです。なぜ発表しなかったのか?……竹内三郎さんからの講演記録作りに関しての厳しい一言がその理由です。講演記録を作ることは許されることなのか……そういう根本的なところからも考えます。

東京・中学校 中 一夫

### <もくじの紹介>

長いまえがき～この資料について

今まで発表しなかった資料/講演を起こすのはいけないこと?/編集のやり方を伝えたい/講演記録を作ると何がいい?/「役立った」と言ってもらっていた資料

講演記録の作り方～その作業の手順と注意

- (1) テープ起こし(講演データを聞いて、それを文章化する)  
いちばんたいへんなのはこの段階/編集は考えずただ打ち込む
- (2) 1回目の編集(①長い文を切る/②語尾を直す/③言葉を補う/④文を削る/⑤段落を区切る/⑥小見出しをつける)
- (3) 2回目・3回目の編集(プリントアウトして、文の入れ替えなど大規模編集)
- (4) 講演者に校正をたのむ
- (5) 編集作業の最後のつめ(「まえがき」, 「あとがき」書き)  
最後に～発表は慎重に!  
その他～レイアウトや記号の使い方  
おわりに

四ヶ浦友季「講演記録を作るときに意識したこと」  
「中一夫講演〈若くたって大丈夫!〉編集後記

#### ④ 授業書《花と実》用の写真の紹介 北村知子さん

《花と実》の授業で見せる写真の紹介。

2学期に行う授業用に撮影した花の写真をオンライン上で紹介していただきました。  
モクレン／タンポポ／オオイヌノフグリ／キュウリ／アサガオ／スイカ／ミニトマトなど。

#### ⑤ 「川崎たのしい授業体験講座 (Zoom)」参加報告 田中浩寿さん (5ペ)

8月に行われた川崎のZoomによる体験講座の参加報告。

##### <レポートのはじめの部分より>

川崎たのしい授業体験講座(Zoom)8月9日～10日(2日目、3日目)参加報告 長野大3年田中浩寿

やっと前期の講義とレポートがほぼ終わった8月第2週の終末、お盆前の三連休に「川崎たのしい授業体験講座」がZoomにて、しかも《無料》で開催されました。

1日目は、「まちかど科学クラブ」(「虹と光」の体験講座)が上田創造館にて行われたので、Zoomの会には不参加でした。

2日目～3日目の8月9日～10日(日・月)は、ものづくりの講座を除いて全講座に参加しました。横山裕子さんが主宰で、若い頃からバリバリやっている印象がありました。今回リモート画面で皆さんの姿をみて、歳をした(自分も)がまだバリバリやっている様子で、新居さんの授業書「つるかめ算」の講座などでも新居節を彷彿とさせるような内容で、元氣と楽しさのために内容一杯いただき、ありがたかったです。しかも無料で!

長野県からは北村知子さんがいくつもの講座に出ていました。体験講座は講師とのチャットなどで双方向になるものの、参加メンバー同士の交流はほぼできにくい状況ではあります。ほかに長野県からは、関崎秀一さんという方が、すべての講座に（顔なしで「関崎秀一@長野」という名前で）参加していました。熱心な参加者でした。たしか別の会でも（TOSSのWEB講座）名前をお見掛けしました。でも全く知らない人です。高校の理科の先生のようなのですが、知っている方はいますか？

講座ごとに感想をグーグルフォームで送りました。はじめは送って終わりでしたが、途中から、スクショで自分の感想を画像保存したので、感想を含めて講座を紹介します。

なお、9月いっぱいくらいホームページを残しておくとのことですので、見られます。

【8月9日第1講座「たのしい音楽」（新居浩明T）】略

【8月9日第2講座「グラフでみる新型コロナ」（竹田かずきT）】略

【8月9日第3講座「食べ物とイオン」（坂井美晃T）】略

【8月9日第4講座「ゆっくり学ぶ子どもたちと算数（坪郷正徳T）】

【8月9日第5講座「授業記録と絵本（扇野剛T）】

【8月9日ナイター「新型ウイルス入門（中村文T，阿部徳昭T）】

【8月10日 朝の会（横山裕子T）】

【8月10日第1講座「貝塚のはなし（福嶋昭雄T）】

【8月10日第2講座「特別支援（高橋慶介T）】

【8月10日第3講座「つるかめ算（横山裕子T）】

【8月10日第4講座ものづくり】略

【8月10日第5講座「自由電子が見えたなら（大木成浩T）】

【8月10日帰りの会（横山裕子T）】

## <講座の感想から>

1日目は用事があり欠席でしたが2日目・3日目のほとんどに参加させていただきました。長野県上田仮説サークルもここ数か月ZOOM開催ですが、ZOOMでの全国規模の仮説の体験講座への参加は初めてでした。しかも無料でこれだけ盛りだくさんで、とつてもたのしくためになりました。また、仮説の哲学や授業運営法の新発見・再発見もありました。1人、以前の職場の同僚を誘い一講座（特別支援）参加して楽しかった模様です。本当に（準備運営大変だったと思いますが）いい会をありがとうございました!!

## ⑥ 「8.12語り場資料発表会」での発表 柳沢克央さん（4ペ）

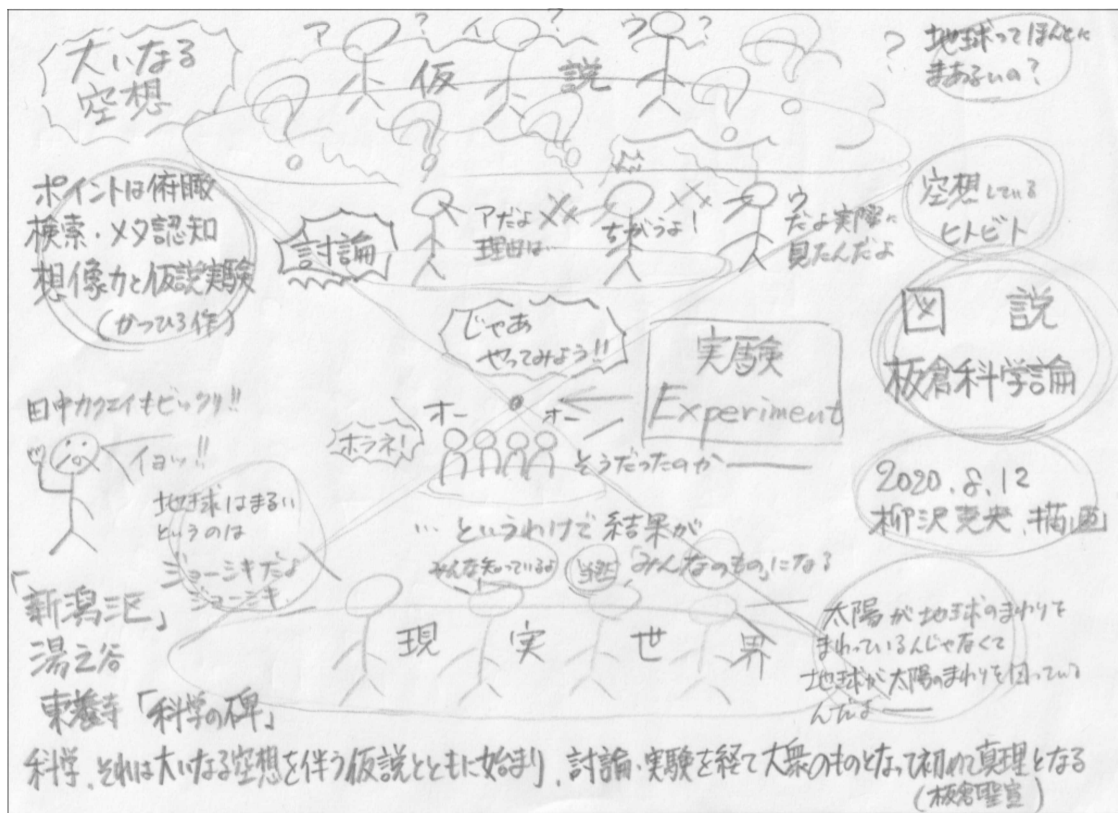
Zoom会議での発表の様子を紹介。

中一夫さんが行っているオンライン発表会。柳沢さんの担当クラスでのオンラインマッキーノの様子や牧野英一さんのお話などを動画で紹介。資料は『仮説実験授業研究会ニュー

ース』(2020年8月号・所収)の「データ・サイエンス時代のシン・マッキーノ論」で、パワーポイントのスライド形式のもの。

⑦ 図説 板倉聖宣科学論 柳沢克央さん (1ペ)

板倉先生の科学論を俯瞰する手書きの資料。



⑧ 紹介：ナイチンゲールとデータ・サイエンス論 柳沢克央さん (1ペ)

信濃毎日新聞の記事の紹介。

科学にフォーカス「ナイチンゲール生誕200年」統計学者の一面も(2020.07.31信毎)

<柳沢さんの解説>

☆ナイチンゲールの第一の業績は「看護学校」というシステムをつくり、組織的で合理的な教育を実践したことである。「白衣の天使」はほとんど虚構に近い。

☆彼女の仕事の基礎に「統計学」と「科学的思考」があった。すなわち彼女もデータ・サイエンスの使い手であったということ。

## ⑨ 文部科学省への「惜別の辞」 柳沢克央さん (1ペ)

柳沢さんの文科省への意見書。

### <全文紹介>

1. 意見の対象項目(必須)「これまでの意見の概要」を参照の上、御意見の対象となる項目を以下から選択してください。

→(1)入試改革全体の経緯

2. 意見(必須)御意見の要点を記入してください。(100文字まで)

→全体像を掌握して統御する人物不在。戸部・野中他『失敗の本質』(ダイヤモンド社)に分析整理された日本的組織の問題点は克服されぬ。無責任体制周知の事実。意見から学べぬ。国家的危機不可避。事実上無政府状態。

3. 意見の理由(必須)2で記入したように考える理由を記入してください。(400文字まで)

→2019年春、公開文書および各種報道から「共通テスト」が杜撰で根本的に設計ミスであると察知した。様々な手段で文科省、ベネッセ、国大協に対して解決するよう働きかけた。結果、全体像を把握して統御するポジションがないと明確に認識。はなから成功させる意思と能力とが欠けていた。柴山・萩生田文科相は無残な愚策をぎりぎりまで認めることができず、数回にわたって謝罪せざるを得ない状況に追い込まれた。官僚の無謬神話はとうの昔に崩壊した。福澤諭吉先生の「学問のすすめ」が官僚機構にいかにも身につけてないかが公然のものとなった以上、国公立大学、公立小中高の地盤沈下は不可避。「ベルリンの壁」崩壊に相当する格差社会化、宣言のない事実上のレッセ・フェールは既に始まっている。「探究的対話的で深い学び」という方針だけは非常に的確だ。いままでの仕事に深く感謝し、家産、官僚制日本国家教育の轟沈をお見舞い申し上げます。さようなら。

以上、柳沢克央記す。2020年8月14日(金)朝9:00頃。戦後75年。日本は全く別の国に変容しました。終戦時に20歳だった人が95歳になるのですから当然のことでしょう。改善しようと思ったら、根本的に作り直すしかないでしょう。ただし、現在の政府に任せては危険です。さて、どうすればよいでしょうか。排外主義はもちろん危険ですが、純血主義も危険。国会議員は総ぐるみで信用できません。国会議員はすべて自民党の〇〇派と考えた方がよい。(例)自民党志位派、悩ましいところです(結び)。

## ⑩ 2020読書メモ8月号 柳沢克央さん (2ペ)

—歴史的大変革「コロナ・ショック」の時代をどう解釈するか—

細谷功著『地頭力を鍛える』(東洋経済新報社・2019年)

柳沢さんが読んだ本の紹介。

〇はじめに—

新疾病はどうもうさんくさいぞ…。少なくともテレビ、新聞にとらわれてしまうと危険

だぞ…そう気づいている人たちが少しずつ増えている実感を持っています。とはいえ、何が真実か、分かっている人は一人もいないでしょう。ただ、真の感染者と、検査の結果「陽性」と判定された人の数は全く異なることは間違いありません。

ファクターXの解明、ワクチンの開発、優先順位、…まだ落ち着いていない現状です。そのようなこととは無関係に読める本をきょうも手にしてすき間時間に楽しみながら読み進める今日この頃です。

コロナ後にも全く何の問題もなく読める本と残念ながら「時代遅れ」になってしまう本にハッキリと分かれるのではないかと予想します。…ということは、学問の成果も、そして、学校の価値も、そこで学ぶ内容も、その価値も…いずれ、そのように拡散していくのではないのでしょうか。読書の意義を考えつつ、一歩ずつ進んでいこうと思っております。敬白

○今月までに読んだ本(順不同)

◆細谷功著『入門・地頭力を鍛える—32のキーワードで学ぶ思考法—』（東洋経済新報社・2019年）

読みやすい。役に立つ。抽象的思考と具体的思考の往復が大切であることを再確認。

◆ユヴァル・ノア・ハラリ著『ホモ・デウス』（上・下）（河出書房新社・2018年）

本書の結論は下巻の最後に書かれていることに気づいた。

**あとがき** 9月の中旬に入り、暑さも遠のき秋の気配を感じる頃となりました。体育科の先生からグラウンドでたくさんのトンボを見かけたという話を伺いました。日中あまり外に出ることもないせいか、このところトンボを見る機会もなかったとハタと気づきました。もっと自然と触れ合う機会をもたなければと思います。

職場は、生徒と職員がマスクをしていることを除けば平常の活動に戻っています。ただ、いつ感染者が出るかということだけが気がかりです。私の所属する2学年は、沖縄への修学旅行は断念し、代替案などは未定です。来月にはクラスマッチ（2日間）とCOL（中西名物のクレーン・オリエンテーリング）が予定されています。（ゴミを拾いながらのオリエンテーリングです。）（エンドウ）

★ 今後の予定 ★  
10月24日(土)  
11月28日(土)  
12月19日(土)